

コンサルテーション事業実施報告 2

事業の名称	発達相談	事業代表者	田中真理
対 象	発達障害児・者、発達障害児・者の家族（親と兄弟）、発達障害児の在籍する学校教師、発達障害児が通う塾講師		
目 的 と 内 容	①目的 発達障害児・者および家族などへの心理臨床的援助 発達障害児・者が通う学校などへの助言 ②内容 発達障害児を対象とした個別面接 " 集団面接 発達障害児の親を対象とした個別面接 " 集団面接 発達障害児の在籍する学級担任との面接 発達障害児が通う塾担当者との面接		
実 施 日 および 実 施 回 数	①実施日 第一・三土曜日、隔週木曜日のほか不定期に実施している ②実施回数および実施形態 来談者ひとりあたりののべ面接回数 337回 面接形態別面接回数 集団遊戯面接 18回 集団面接（親グループ） 18回 個別遊戯面接 16回 心理検査 6回 個別相談面接 24回 （親対象22回、学校担任教師対象2回） 学校への訪問面接 3回		
実施場所	大学内のプレイルーム、田中研究室、訪問先の学校、大学内面接室		
主なスタッフ	田中真理 田中研究室の指導学生 小牧綾乃（東北大学大学院教育学研究科） 滝吉美知香（ " ） 廣澤満之（ " ） 和田美穂（ " ） 榎本泰亮（東北大学教育学部研究生） 小島未生（東北大学教育学部） 中山奈央（ " ）	人 数	8名

<p>スタッフの 活動内容</p>	<p>①知能検査・発達検査の施行：陪席者として参加した後、記録者あるいは検査者として実際に検査を施行する。検査後、被験者の全体的な印象、入室時および退室時の様子、検査場面で情緒・行動面における様子、課題遂行失敗時や課題解決が困難な状況における反応、問題解決の全体的パターン、下位検査の質的分析、(過去の検査結果資料がある場合)過去の検査結果との比較、今後の支援、総合的所見、について検査所見を作成する</p> <p>②面接への陪席</p> <p>③面接担当 実際にケースを担当する</p> <p>④面接記録の作成：逐語録、毎セッションにおける各事例の考察、スタッフによる関わりについての考察</p> <p>⑤カンファレンスへの出席：逐語録をもとに、事例についての再度診断的見立てをするとともに、関わりの方針の見直しを行う</p> <p>⑥事例報告の作成</p>
-----------------------	--

<p>現在の事業内容 (代表的なもの)</p>	
<p>その他</p>	